

令和4年度（第5回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和5年1月27日（金）

10:00～10:50

場 所：市庁舎5階 プレゼンルーム

1 事業内容説明について

【事前評価2】ポートレース若松施設整備事業

～事業課より資料6に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料8に基づき説明～

3 質疑応答について

○構成員

ご説明ありがとうございました。前も申し上げたと思いますが、イメージアップという観点では難しい面もあるのかなと思っています。特に立地の条件は工場などが多い所で、もともと近寄りやすい、親しみやすいという場所というわけではありませんので、周辺環境も含めて、広報であるとか皆さんがここに来ていただけるような工夫が必要なのかなと思っています。

それと西スタンド棟の改修事業は、すごく費用が高いと思うのですが、お話を聞くと単なる建物というわけではなくて、ポートレースを運営するため行うために必要なものだと理解できましたので、改修は必要であると思いました。

また、道路を拡幅するということでしたので、環境はよくなるのではないのかなという印象でした。コメントだけですが以上です。

○座長

それでは事業担当課から、何か今のコメントについてございますか。

●事業課

道路の拡幅につきましては、元々道路の土地の問題とかで事業自体が止まっておりましたが、ポートレース場のパーク化の構想が出まして、それであれば一緒に出来るのではないかと考えていた形になりました。この辺は結構産業道路も周りにございまして、ただそうは言っても、お客様とか地域の住民の方の生活道路にもなりますので、拡幅していただいて、安全性を確保するというのは非常にありがたいことだと考えております。

今回、1万平米程をパーク化することで、周辺はかなり工業地帯があるんですけども、緑も増えて癒しの空間というか工場群の中でそういう空間ができるというのは、誰でもお見えいただけるので、そういうのができるというのは非常にいいのではないかと考えております。

○座長

近辺には、JRの駅がございますよね。今回は駅とタイアップしたような周辺整備とかそういった話はまだ出ていないのですか。

●事業課

現状ではございません。奥洞海駅がちょうど無人化されまして、お客様の利用者の数とかありますので、その辺はまだ現状、事業者と協議しておるといことはございませんが、今後進める中でコロナ禍でもあるので、なかなか今、事業者も苦しい状況なので、我々で出来ることがあればやっていければと思っております。

○構成員

ご説明いただきましてありがとうございます。本事業については、老朽化等もあり修繕の必要性があるということは理解していますし、また、事業での収入の一部を充てるということで事業を進めていただくことについては異論ありません。

他方で、金融機関というか、ビジネスの観点で見ると、この事業は、舟券を買ってくれた方の収益で成り立っているという事業と言えます。そして、この収益がどこから成り立っているかという大半はインターネットからの投票で成り立っているということを伺っています。もちろん地域貢献と新たなファンの獲得や新たなボートレーサーのなり手の育成ということは重要な観点ではあるのですが、一番のお客さんというのはインターネットで投票をされている方だという視点も忘れてはいけないと思っています。例えば、G1 レースの誘致は、インターネット投票の増加に貢献するものと認識をしています。目標にはこうした視点をとり入れるのは難しいとお聞きしているところではあるんですけども、インターネットから投票している方を、どのように上手く取り込んで、売り上げを増やすのか、ということについては、引き続き検討をしていただきたいなと思っております。

●事業課

これにつきましては確かにその通りでして、今、本場では大体売り上げ 2%程度です。ネット投票は全体売り上げの 8 割で、残りが場外とかボートピア、本場以外のボート場ですとか専用発売所で売っている割合でございます。その 8 割を超えるネット投票のお客様に対しては、どういうことをやっているかと申しますと、ボートレース業界で、中央団体の方でお客様サービスのために前は電話投票事業部と言ったんですけど、今はネット投票用のスマホ事業部みたいな名称も変えまして、そこのお客様に対する情報の発信をかなり強化しております、サービスアップをしております。各ボート場につきましては、YouTube で投票関係の情報をたくさん流して、お客様に買うための、予想のための情報を強化して流して、人気の YouTuber とか使って、情報を発信させていただいており、特にそれに促販費の大半を使っていることが多いです。昔、新聞系とか、スポーツ紙とか、そういう街の看板とかに力を入れていたんですけど、最近はネット環境での情報発信というのに力を入れてサービスアップをさせていただいているというのが現状でございます。

○座長

構成員から指摘のあった点、とても大事なところかなと私も思っていて、つまり直接足を運ぶその客層とインターネットで投票する客層って違うと思うんですね。ですからまずは、2 つあると思うんですけど、1 つはインターネット客の分析をきちんとして、その中で新しいファンがそこで出ているかどうかという、その点まず数字は把握されているんですかね。

●事業課

これは電話投票、ネット投票自体は、中央団体のほうで業務をしておりますので、そこについては、新規のお客様、それから休眠されているお客様とか、そのへん含めて全てを把握しております。また、個々のお客様が年間いくら買われるとか、何レースをいくら買ったとか全て把握してございます。

○座長

例えば年齢層であるとかも把握されているということですか。

●事業課

年齢も性別も全て含めて把握させていただいております。我々のところには、中々情報全てをくれませんけれども、そういう属性とか、個人が特定できないような形のデータ分析で、それをフィードバックして、業界と連携してこういう施策を打っていかうということできさせていただいております。大体、百数十万の会員様がいらっしゃいますので、そのお客様向けに、我々はもう中央団体に交付金とか負担金を売り上げから払っておりますので、それを使って団体のほうはやっていくという状況でございます。

●事業課

ちなみに今、ボートレースの舟券を買っていただいているネットで買っていただいている情報としては我々にも提供してもらっていますけど、コロナ禍もありまして、最近やはり若年層の利用者が顕著に増えているというような傾向があります。今、会員の中心は大体30代というふうになっていますので、新しいお客さんの取り込みというのはその辺で、一部成果が上がっているのかなと思っていますけれども、施行者で色々やれることもございますので、そういったものは中央団体と連携しながら今後もやっていきたいと思っております。

○座長

2つ目になるんですけども、ファン層の拡大というところが、かなりこの施設の整備の目玉になっていますけれども、今、1点目で話したその客層の違いというのがあって、そのネットで買われる方は、やはりネット志向の方が多いと思うんですね。そういう人をこのボートレースパークにどうやって実地で呼び込めるかというところがポイントだと思います。もしそういった客層が来ないで、ネットで十分という話であれば、あまり施設を整備する意味はないですね。ネットを充実していく方がかなりいいので、だからそのネットの顧客をどうやって引っ張り出してくるかという仕組みがとっても大事だと思います。

そのこのところを少し工夫していただければというふうに思っております。ファミリー層を呼んで、それが直接舟券を買うかどうかというのはちょっとまた別の話かなと思いますので、客層の違いというのをきちんと精緻に分析したほうがいいと思います。

●事業課

現状においても、昨日までボートレース若松で大きいレースをやっておりました。やはり有名な選手が来るとお客さんは増えています。普段、多分、ネットで買われている方も、あの選手が来るんだっから見に行こうというような形にはなると思います。

○座長

それで話を伺った限りでは、この施設を整備する意味というのは、大きいレースを呼ぶために整備するというのが強くなってしまいが、それだけではないと思いますのでやはり仕組みを考えていただきたいと思います。

●事業課

やはりファミリー層の取り込みも、ボートレースパーク化によって、要はボートに興味がない方もここに来られる。これは我々としても、狙いとしてはございます。ボートレースに普段触れることがない方々も来られるので、そういったところから北九州市にはボートレースがあるというのをまず知ってもらうというのは、非常に重要なことかなと思っておりますので。そういったところも

含めて、考えさせていただきたいと思います。

○座長

ボートレースはギャンブル的な要素はありますが、やはりスポーツというのが基本なので、そのスポーツの良さをきちんとPRしていただくようにお願いします。

○構成員

本事業単体で考えた場合、収益を求めるものではないというこの資料7の「事業分類4」の解釈がよく分かりません。事業分類が4になっていて収益を求めるものではないと、この対象部分単体というのは何をさすのでしょうか。

●事業課

これは判断としては施設自体での、いわゆる入場料収入とかを求めるものではないという判断だと思います。要は、レースの収益ではなくてその単体というような。

○構成員

運営の方側で収益事業をやっているの、施設自体ではないということですか。

●事業課

施設に入ってきてその入場料で収益を求めている、いわゆるその例えば博物館だとか、入場料収入で成り立っているような施設ではないという判断です。

○構成員

次に、資料8の内部評価のところ、市の子育て支援施設として位置づけるとありますが、そうすると、一般財源と組み合わせるといことでしょうか。

●事業課

イメージとしては、例えばその我々の整備する地域貢献エリアの一部を使って市がそこで子育て支援事業をやったりはできないのかというイメージなので、施設自体は我々が整備を当然やりますけれども、その中でやるソフト的なものを市でやれないかというようなところでございます。

○構成員

一般会計の方から財源が入ると事業の位置づけが少し変わるのかなと思いました。

○座長

そうするとやはり子育て施設の運営については、市と連携しながらじゃないとできないという話になるのですか。

●事業課

もちろん所管局と調整の上、所管局がやれる、やりたい事業等がございましたら、協力できることから連携することになります。

○座長

ここの内部評価のこれは一方的に投げているのではなくて、自分にはね返っている話だとは思ってますよね。一緒に調整していくということですよ。

○構成員

意見とすると、1回目もお伝えしましたが、できるだけ防災のことも配慮していただきたいと思いません。

○座長

それでは、本日ご欠席の構成員のご意見ご質問、事務局よろしくお願ひいたします。

○事務局

本日ご欠席の3名の構成員コメントを紹介させていただきます。

まず、1人目の構成員からは2件、両方とも内容的には要望の内容でございます。1点目、地域貢献エリアの整備に併せて周辺道路を整備することは、交通渋滞の解消やファミリー層を呼び込むにあたって、大変良い取り組みだと思ふ。2点目、地域貢献エリアについては、子育て支援など多角的な利用方法を検討し、ボートレース事業のイメージアップに繋げていただきたい。

次に、2人目の構成員からは、2件ご意見をいただいております。1点目、来場者の安全性を確保できるよう西スタンド棟、地域貢献エリアどちらの整備についてもしっかりと対応していただきたい。2点目、地域貢献エリアの整備にあたっては、若松らしさや北九州市らしさを取り入れていただきたい。

最後に、3人目の構成員からは、1件はご意見、1件は質問でございました。市民の理解を得るために、ボートレースの収益金が市民生活に寄与していることをしっかりとPRしていただきたい。質問については、施設整備による来場者増加で騒音や交通渋滞等の問題が発生する可能性があるが、地域住民の理解は得られているのか。

○座長

今のご意見に対して、発言はありますでしょうか。

●事業課

地域の方には、年に数回周辺対策会議ということで、周辺住民や自治会の方と会議を開いてございます。ボートレースの質問はないかを含めて、色々ご意見を頂戴しております。そういうご意見をいただきましたら改善できるように、調整しております。それ以外の会議でも、いろいろご意見があれば、聞くということをしておりまして、地域の方にはご理解頂いております。

////////////////////////////////////

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思ひます。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画で進めていくことに対して、ご異議、ご意見等はございませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、当該事業については、この計画どおり継続していくことを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思ひます。

////////////////////////////////////

1点目は、ボートレース場に足を運んでいないインターネット客や、ファミリー層、若年層など新規ファン層の来場を促進するため精緻な分析をし、来場者拡大に向けた仕組みづくりを考えていただきたい。

2点目は、ボートレース場に足を運んでいただけるような広報活動を積極的に行うとともに、ボートレースパーク化の社会貢献性もしっかりとPRしていただきたい。

3点目は、実施設計を進めるにあたっては、地域住民への防災面や来場者への安全性の視点も重視していただきたい。

4点目は、地域貢献エリアの整備にあたっては、北九州市らしさ、若松らしさを取り入れていただきたい。

以上、4点について、このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

それでは具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして事務局と調整させていただきます。よろしいですかね。

(異議なし)

はい。それから、本日の会議資料に議事録については後日、市のホームページに掲載することになりますが、議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思います。

それでは今後の予定につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

ただいま構成員の皆様のご理解をご了承いただきましたとおり、ボートレース若松施設整備事業につきましては、現計画のとおり事業を進めさせていただきたいと思います。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を作成し、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。以上でございます。

○座長

ありがとうございました。

それではこれで本件の検討会議を終了したいと思います。皆さん、大変、お疲れ様でした。